
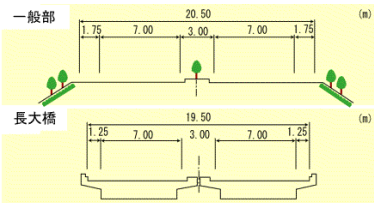


## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

<b>事業名</b>	一般国道57号 熊本宇土道路(熊本天草幹線道路)	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 九州地方整備局	
<b>起終点</b>	自：熊本県熊本市海路口町 至：熊本県宇土市城塚町	<b>延長</b>	3.8 km			
<b>事業概要</b> 熊本天草幹線道路の一部を構成し、平成8年8月に整備区間に指定された路線である。一般国道3号、57号の交通渋滞緩和を図り、地域連携強化や地域振興プロジェクトを支援し、地域活性化に寄与するものである。						
H 9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 13年度用地着手	H 年度工事着手			
<b>全体事業費</b>		404億円	<b>事業進捗率</b>	8%	<b>供用済延長</b>	0km
<b>計画交通量</b>		18,900台/日				
<b>費用対効果 分析結果</b>	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/事業全体		総便益 (残事業)/事業全体		基準年 平成18年
	(残事業)	274/313億円 事業費：260/299億円 維持管理費：14/15億円		1,383/1,383億円 走行時間短縮便益：1185/1185億円 走行費用減少便益：134/134億円 交通事故減少便益：63/63億円		
<b>事業の効果等</b> ・ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される(熊本県天草地方) ・ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する(代替する区間：一般国道3号、57号熊本市近見～宇土市城塚) 他9項目に該当						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・ 熊本・天草幹線道路整備促進期成会(会長：天草市長)の活動がなされており、平成5年6月より毎年国土交通省及び関係機関へ早期整備の要望がなされている。						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・ 沿線の市町村合併(上天草市、宇城市、天草市)、沿線人口の高齢化率の高まり(天草31%、県24%)、沿線地域の1次産業就業の減少・3次産業就業の増加、自動車保有・免許保有者の増加						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・ 事業費ベース：8% (H17末進捗/全体事業=33億円/404億円) ・ 用地進捗率：31% (H17末進捗/全体事業=10億円/32億円)						
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・ 用地買収を促進するとともに、関係機関協議及び地権者等と協議を進め早期供用に向け整備を推進。						
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・ 函渠断面、I C形状、盛土計画高の見直しなど行い、着実なコスト削減を図るとともに、事業の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的整備により効率性の向上を図る。						
<b>対応方針</b>		事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b> ・ 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
<b>事業概要図</b>			<b>【標準横断面図】</b>			
						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。